

平成15年 2月 24日

下北・津軽半島大橋技術検討委員会の開催

下北・津軽半島大橋は、国土の均衡ある発展という国土政策の基本理念のもと、津軽海峡大橋と共に「津軽海峡軸」形成構想の重点施策として位置付けられており、両半島地域の地理的閉鎖性や交通利便性の低さ、産業・経済活動の立ち遅れ等、半島特有の課題を解消しつつ、県土全体の循環性や東西連絡性、新たな文化・経済圏（陸奥湾経済圏）の創出を目的に計画されたものです。

本橋梁は下北半島側の国道338号（脇野沢村）と津軽半島側の国道280号（平館村）を連絡する平館海峡に架橋される延長約11キロメートルの超長大橋であり、設計、施工方法等多くの課題を克服しながらの計画となることから、各専門分野の技術的助言や指導を仰ぎながらの計画が望ましいところです。

このため、第5回委員会を開催するものです。

記

<第5回技術検討委員会>

○と き 平成15年2月25日（火） 9:00～12:00

○と ころ 青森国際ホテル「孔雀の間」

委員 伊藤 學（東京大学名誉教授）、塩井幸武（八戸工業大学）、
長谷川明（八戸工業大学）、長井正嗣（長岡技術科学大学）、
風間基樹、鈴木基行（東北大学）、塩原鉄郎（青森大学）
駒田敬一（（財）海洋架橋調査会）、藤原 稔（海峡横断道路調査会）
岡原美知夫、常田賢一、佐藤弘史、福井次郎、運上茂樹（独立行政法人土木研究所）、
岸本良孝（本州四国連絡橋公団）、山元隆（県県土整備部）

○主 催 青森県

この件に関する問い合わせ

県土整備部 道路課 課長補佐 石岡
橋梁班長 中田
TEL 017(734)9652